東日本大震災被災地応援実行委員会たより

轍わだち

２０１８．１．１１　ＮＯ．９５

気仙沼市や熊本県へクリスマスギフトを届けました

毎年クリスマスには、東日本大震災被災地応援実行委員会から、被災された方々に向けてプレゼントとメッセージカードを贈っています。今年は気仙沼市の「鹿折まちづくり協議会」と「社会福祉協議会」の御協力を得て、また、熊本県へは「聖三一教会」と九州教区の「九州地震被災者支援室」を通してプレゼントを配っていただきました。**裏面にはそのお礼状を掲載しています。**

生徒の感想や手紙

【買出し】被災地へ送るたくさんの買い物ができました。どの品物を送ると役に立つのかをよく考えて、少しでも喜んでもらえるものを相談しながら買いました。
（中学１年　谷本はな　宮本美結）

【被災された方へのお手紙】　ますます寒さが厳しくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。今年は暖かく過ごせるようにカイロやお米、カップラーメンなどもクリスマスプレゼントとして送ります。少しずつですが、ぜひお使いください。お体に気をつけてお過ごしください。（高２　岩岡侑葵）

京都では先日初雪が降りました。今年は例年よりとても寒いため風邪などひかないようにして下さい。私たち東日本大震災被災地応援実行委員会は、淡路島の震災記念館を訪ねたり、被災した方々からお話を聴いたりして地震の怖さを学んでいます。みなさまには幸せなクリスマスとお正月が訪れることを願っています。　（高２　上尾紗矢）

プレゼント袋詰めの様子

被災地の方々から、どんなものが必要なのか事前にお聞きしながら、贈り物を決めました。そのことは現地のいまの様子を知るきっかけにもなりました。メッセージカードも委員はじめ、教職員の方にも書いていただき送りました。

【被災地域に送ったもの】
・お米・さかな缶詰・フルーツ缶詰・カップ麺・カイロ・インスタント味噌汁・インスタントスープ
・クリスマスお菓子の詰め合わせ・東日本ハンカチ・東日本ペン＆付箋セット・防寒用グッズ・クッション・におい袋・石鹸・クリスマスのメッセージカード　など

11円募金・保護者会カンパ・クリスマス献金などご協力頂きお礼申し上げます。

平安女学院中学校・高等学校
東日本大震災被災地応援実行委員会2017年度
委員のみなさま

この度は、気仙沼市の被災者宛にすてきなプレゼントをありがとうございました。毎月11日にみなさんが募金活動などを通じて、被災地の私たちに思いを寄せ続けてくださることに心から感謝しています。
そんな努力で集めていただいた募金で、贈っていただいたプレゼントは、高齢者などに届けさせていただきました。ありがとうございます。
あの日から6年10か月が経ちました。被災地は少しずつですが確実にハード面は復興へのあゆみを進めています。

しかし、ソフト面（人の心）の復興はなかなか進んでいません。
マンション型の公営住宅ではなかなか隣人との関係性の構築が難しく、孤独を訴える住民さんも多くいます。
そんな住民さんたちが集まる機会の創出は新しいコミュニティつくりには必要なこととなっています。
みなさんのプレゼントの一部は集まりの中で配らせていただきます。
ありがとうございました♫
地域の女性のみなさんが作った折り鶴ストラップと鹿折まちづくり協議会の季刊誌を同封させていただきます。

2017年12月31日
気仙沼市地域活性化支援員
吉田　千春

←頂いた折鶴のストラップは室町門前に掲示しますので、
よかったら掲示板から自由に取ってお使いください。

熊本から感謝のメッセージ（FaceBookより）

12月28・29日活動報告　　報告者：山本尚生（九州地震被災者支援室）

この２日間は2017年最後の活動日でした。京都の平安女学院中高の生徒さんたちから手作りクッションやネックウォーマー、手袋など冬にあるとありがたいグッズが届いたのでそれを必要な所に配りながら訪問しました。年末の挨拶もしながら、久しぶりに会う方のところへも訪問し１人１人とゆっくり話をすることが出来ました。時間が経たつにつれ自宅の再建の難しさや、町の道路拡張や区画整理計画への不安な思いなど様々な話が出てきました。熊本は冷え込みが厳しいところなので、平安女学院からの贈り物はとても感謝されました。